

7月臨時議会

木曾郡町村議会議員総会開かれる

7月31日臨時議会が召集され、一般会計補正予算と簡易水道事業特別会計補正予算の2議案が提出され、審議の結果、いずれも原案どおり可決されました。

補正予算

●平成18年度南木曾町一般会計補正予算(第2号)

8千236万5千円を追加し、総額を35億5千502万2千円となりました。

●補正予算の主な内容は、7月豪雨災害による災害復旧経費と10月からの戸籍システム機器更新に係るシステムリース料等の経費の追加等です。

●平成18年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳出の款項間で17万5千円を組み替える補正です。

●補正予算の内容は、公用車を4年間で分割購入することとし、18年度分の支払額の補正です。



平成18年度の木曾郡町村議会議員総会が、去る7月12日に上松町の勤労者福祉センターで開催されました。会長あいさつに始まり、10年以上在職した議員に贈られる自治功労者表彰が行われ、当町議会の勝野春喜副議長、岡庭覚次郎議員、竹腰栄一議員、松原碩彦議員、高橋進議員の5名が受賞しました。続いて、議長団の選出が行われ、当町の勝野副議長が議長団として登壇しました。

今年度は、6項目の提出議案が審議され、当町の北原議長は「木曾地区主要幹線道路の整備促進について」提案説明を行いました。また、高橋議員は「一般国道19号の総合的な交通安全対策について」の議案に対して、冬季の安全対策として南木曾町に除雪ステーション建設要望等の賛成討論を行いました。決議された項目は次のとおりです。

- 1 障害者総合支援センターへの財政支援等を求めることについて
- 2 木曾圏域障害者総合支援センター「ともに」への人件費補助の継続
- 3 専門職員の増員
- 4 木曾谷林業の特殊性を反映した国有林の地域管理経営計画の樹立について
- 5 間伐などの森林整備の継続的な取り組み
- 6 地域の木材産業振興のための木材の安定供給
- 7 地域の意向に配慮した森林施業
- 8 県立木曾病院の充実を求めることについて
- 9 医師等、医療技術者確保のための総合的な対策の構築
- 10 木曾地域の中核病院として、病院機能のさらなる充実
- 11 鳥獣による被害対策の推進について
- 12 被害防止対策の支援とともに、より効果的な防除の指導
- 13 里山整備の推進
- 14 間伐等、長期的な森林整備に対する継続的な支援
- 15 一般国道19号の総合的な交通安全対策について
- 16 国道19号を通過する大型車両の削減
- 17 事故危険箇所改良及び交通安全施設のさらなる充実
- 18 速度抑制対策と交通指導・取締りの継続
- 19 冬期間の「積雪」を理由とする事前通行規制(チェーン規制)の検討
- 20 木曾地区主要幹線道路の整備促進について
- 21 国道19号の整備促進

- ・ 国道256号の改良促進
- ・ 国道361号の改良促進
- ・ 木曾川右岸道路の建設促進
- ・ 地方道路の整備促進

総会終了後、研修会に入り、総務省自治財政局調整課長の務台俊介氏による講演「道州制議論・歳入歳入一体改革と地方自治体の将来」と題した講演を聴講しました。

講演の主な内容は、これから論議が本格化する道州制について、歳入歳入一体改革についての総務省の考え方、地方財政分野における歳入改革の具体的内容と、この7月7日に閣議決定された政府の骨太方針「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」についての説明があり、大変有意義な研修会となりました。



受賞されたみなさん

